



## Cisco ボイスメール ポートの設定

オプションのソフトウェアである Cisco Unity は、Cisco IP テレフォニー ソリューションの一環として利用され、ユーザがコールに応答できないときに、ボイス メッセージ機能を提供します。この項では Cisco ボイスメール ポートの追加、設定、更新、および削除に必要な手順について説明します。この手順は Cisco CallManager ウィンドウの Feature メニューから Voice Mail を選び、サブメニュー オプションを選択することによって実行できます。

Cisco Unity の設定の詳細については、『*Cisco CallManager 4.0 Integration Guide for Cisco Unity 4.0*』を参照してください。

Cisco Unity ボイスメール サーバに関連したポートは、Cisco Voice Mail Port Wizard を使用せずに、Cisco CallManager データベースに追加したり、削除したりすることができます。

ここでは、次の内容について説明します。

- [Cisco ボイスメール ポートの検索 \(P.62-2\)](#)
- [Cisco ボイスメール ポートの設定 \(P.62-4\)](#)
- [Cisco ボイスメール ポートの設定値 \(P.62-5\)](#)
- [Cisco ボイスメール ポートの削除 \(P.62-8\)](#)

## Cisco ボイスメール ポートの検索

通常ネットワーク内にはいくつかの Cisco ボイスメール ポートが存在することがあるので、Cisco CallManager では、固有の基準を指定して、特定の Cisco ボイスメール ポートを見つけることができます。Cisco ボイスメール ポートを見つける手順は、次のとおりです。



(注)

Cisco CallManager Administration では、ブラウザセッションでの作業中は、Cisco ボイスメール ポートの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、Cisco ボイスメール ポートの検索設定は保持されます。

### 手順

**ステップ 1** Voice Mail > Cisco Voice Mail Port の順に選択します。

Find and List Voice Mail Ports ウィンドウが表示されます。2 つのドロップダウン リスト ボックスを使用して、Cisco ボイスメール ポートを検索します。

**ステップ 2** 最初の Find voice mail ports where ドロップダウン リスト ボックスから、次の基準のいずれかを選択します。

- Device Name
- Description
- Directory Number
- Calling Search Space
- Device Pool



(注)

このドロップダウン リスト ボックスで選択する基準によって、検索時に生成される Cisco ボイスメール ポート リストのソート方法が決まります。たとえば、Device Pool を選択すると、Device Pool 列が結果リストの左側の列に表示されます。

2 番目の Find voice mail ports where ドロップダウン リスト ボックスから、次の基準のいずれかを選択します。

- begins with (前方一致)
- contains (中間一致)
- ends with (後方一致)
- is exactly (完全一致)
- is empty (空白)
- is not empty (非空白)

**ステップ 3** 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、**Find** をクリックします。また、ページごとに表示する項目の数も指定できます。



**ヒント** データベースに登録されている Cisco ボイスメール ポートをすべて検索するには、検索テキストを入力せずに **Find** をクリックします。

検出された Cisco ボイスメール ポートのリストが、次の項目別に表示されます。

- Voice Mail Port icon
- Device Name
- Description
- Device Pool
- Status (状況)
- IP Address



**(注)** 該当する Cisco ボイスメール ポートの横にあるチェックボックスをオンにして **Delete Selected** をクリックすると、**Find and List Voice Mail Ports** ウィンドウから複数の Cisco ボイスメール ポートを削除できます。ウィンドウ内の Cisco ボイスメール ポートをすべて削除するには、**Select All** ボタンをクリックし、**Delete Selected** をクリックします。

**ステップ 4** レコードのリストから、検索条件と一致する Voice Mail Port icon、Device Name、Description、または関連する Device Pool をクリックします。

選択した Cisco ボイスメール ポートがウィンドウに表示されます。

#### 追加情報

P.62-8 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## Cisco ボイスメール ポートの設定

Cisco Unity ボイス メッセージ システムを Cisco CallManager に接続するには、Cisco CallManager データベースに Cisco ボイスメール ポートを追加する必要があります。



### ヒント

新規 Cisco ボイスメール サーバとポートを追加したり、既存のサーバに複数のポートを追加するには、この項で説明されている手順のほかに、Cisco Voice Mail Port Wizard を使用することもできます。詳細については、P.63-1 の「Cisco ボイスメール ポート ウィザード」を参照してください。

個々の Cisco ボイスメール ポートを Cisco CallManager データベースに追加する手順と、既存のボイスメール ポートを更新またはコピーする手順は、次のとおりです。

### 手順

**ステップ 1** Voice Mail > Cisco Voice Mail Port の順に選択します。

Find and List Voice Mail Ports ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 次の作業のいずれかを実行します。

- Cisco ボイスメール ポートとその設定をコピーするには、該当する Cisco ボイスメール ポートを見つけます (P.62-2 の「Cisco ボイスメール ポートの検索」を参照)。Search Results リストから、コピーするボイスメール ポートに対応する **Copy** アイコンをクリックし、**ステップ 3** に進みます。
- 新しいボイスメール ポートを追加するには、**Add New** ボタンをクリックします。Voice Mail Port Configuration ウィンドウが表示されます。**ステップ 3** に進みます。
- 既存の Cisco ボイスメール ポートを更新するには、該当するボイスメール ポートを見つけます (P.62-2 の「Cisco ボイスメール ポートの検索」を参照)。更新するボイスメール ポートをクリックし、**ステップ 3** に進みます。

**ステップ 3** 適切な設定値を入力します (表 62-1 を参照)。

**ステップ 4** Save をクリックします。

既存の Cisco ボイスメール ポートの基本設定をコピーして、別の Cisco ボイスメール ポートに適用する場合は、Port Name フィールドと Directory Number フィールドを変更する必要があります。

### 追加情報

P.62-8 の「関連項目」を参照してください。

## Cisco ボイスメール ポートの設定値

表 62-1 では、Cisco ボイスメール ポートの設定値について説明します。関連する手順の詳細については、P.62-8 の「関連項目」を参照してください。

表 62-1 Cisco ボイスメール ポートの設定値



フィールド	説明
デバイス情報	
Port Name	<p>Cisco ボイスメール ポートを識別する名前を入力します。Cisco ボイスメッセージ システム上でポートごとにデバイスを追加する必要があります。24 個のポートがある場合は、24 個のデバイスを定義する必要があります。</p> <p>名前は 9 文字以内にしてください。</p> <p> (注) Cisco Unity では、この名前が CiscoUM-VI1 または Cisco UM-VI2 などの Unity Telephony Integration Manager (UTIM) コンフィギュレーション ファイルの名前と一致する必要があります。</p>
Description	デバイスの目的を明確にした説明を入力します。
Device Pool	デフォルト値または特定のデバイス プールを選択します。
Calling Search Space	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、適切なコーリング サーチ スペースを選択します。コーリング サーチ スペースは、このデバイスからコールされる番号を見つけるために検索されるパーティションの集合から構成されます。登録者の番号およびネットワーク デバイスへのコールを可能にするコーリング サーチ スペースの名前を選択します。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するコーリング サーチ スペースの数を設定できます。Max List Box Items エンタープライズ パラメータで設定された数よりもコーリング サーチ スペースの数が多い場合、省略記号ボタン (...) がドロップダウン リスト ボックスの横に表示されます。... ボタンをクリックすると、Select Calling Search Space ウィンドウが表示されます。</p> <p><b>List items where Name contains</b> フィールドにコーリング サーチ スペース名の一部を入力します。<b>Select item to use</b> ボックスに表示されるコーリング サーチ スペースのリストで希望するコーリング サーチ スペース名をクリックし、<b>OK</b> をクリックします。</p> <p> (注) リスト ボックスの最大項目を設定するには、<b>System &gt; Enterprise Parameters</b> の順に選択し、<b>CCMAdmin Parameters</b> を選択します。</p>
AAR Calling Search Space	自動代替ルーティング (AAR) の実行時にデバイスが使用するコーリング サーチ スペースを選択します。コーリング サーチ スペースは、帯域幅不足によってコールがブロックされないように、収集された (発信) 番号をルーティングする方法を決定するために検索されるパーティションの集合を指定します。

表 62-1 Cisco ボイスメール ポートの設定値 (続き)



フィールド	説明
Location	<p>デフォルト値 <b>None</b> を選択します。</p> <p>ロケーションは、このデバイスとの間のコールに使用可能な帯域幅の合計を指定します。ロケーションに <b>None</b> を設定すると、そのロケーションの機能では、このデバイスが消費する帯域幅を把握しません。</p>
SCCP Phone Security Profile	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、ポートに適用するデバイス セキュリティ モードに基づいて、セキュリティ プロファイルを選択します。Cisco ボイスメール ポートは Certificate Authority Proxy Function (CAPF) をサポートしません。このことは、セキュリティ プロファイルに CAPF の設定が含まれている場合も同様です。プロファイルをポートに適用した場合、Cisco CallManager はこれらの設定を無視します。</p> <p>セキュリティ プロファイルの詳細については、『Cisco CallManager セキュリティガイド』を参照してください。</p>
電話番号の情報	
Directory Number	<p>このボイスメール ポートに関連する番号を入力します。このフィールドと Partition フィールドとの組み合わせが、固有のものであることを確認してください。</p>
Partition	<p>この電話番号が属するパーティションを選択します。パーティションを使用しない場合は、&lt;None&gt; を選択してください。パーティションを選択する場合は、そのパーティションを含むコーリング サーチ スペースを選択する必要があります。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するパーティションの数を設定することができます。Max List Box Items エンタープライズ パラメータで設定された数よりもパーティションの数が多い場合、省略記号ボタン (...) がドロップダウン リスト ボックスの横に表示されます。... ボタンをクリックすると、Select Partition ウィンドウが表示されます。<b>List items where Name contains</b> フィールドにパーティション名の一部を入力します。<b>Select item to use</b> ボックスに表示されるパーティションのリストで希望するパーティション名をクリックし、<b>OK</b> をクリックします。</p> <p> (注) リスト ボックスの最大項目を設定するには、<b>System &gt; Enterprise Parameters</b> の順に選択し、<b>CCMAdmin Parameters</b> を選択します。</p>

表 62-1 Cisco ボイスメール ポートの設定値 (続き)

フィールド	説明
Calling Search Space	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、適切なコーリング サーチ スペースを選択します。コーリング サーチ スペースは、この電話番号からコールされる番号を見つけるために検索されるパーティションの集合から構成されます。パーティションを選択する場合は、そのパーティションを含むコーリング サーチ スペースを選択する必要があります。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するコーリング サーチ スペースの数を設定できます。Max List Box Items エンタープライズ パラメータで設定された数よりもコーリング サーチ スペースの数が多い場合、省略記号ボタン (...) がドロップダウン リスト ボックスの横に表示されます。... ボタンをクリックすると、Select Calling Search Space ウィンドウが表示されます。</p> <p>List items where Name contains フィールドにコーリング サーチ スペース名の一部を入力します。Select item to use ボックスに表示されるコーリング サーチ スペースのリストで希望するコーリング サーチ スペース名をクリックし、OK をクリックします。</p> <p> (注) リスト ボックスの最大項目を設定するには、<b>System &gt; Enterprise Parameters</b> の順に選択し、<b>CCMAdmin Parameters</b> を選択します。</p>
AAR Group	<p>このデバイスの自動代替ルーティング (AAR) グループを選択します。AAR グループは、帯域幅不足のためにコールがブロックされないように、コールをルーティングするためのプレフィックス番号を提供します。AAR グループ設定を None にすると、ブロックされたコールの再ルーティングは行われません。</p>
Internal Caller ID Display	<p>この回線からコールが行われるときに、着信側電話機に表示されるテキストを指定します。</p>
Internal Caller ID Display (ASCII format)	<p>この回線からコールが行われるときに、着信側電話機に表示されるテキストを ASCII 形式で指定します。</p>
External Number Mask	<p>外部 (発信) コールに対して、発信者 ID 情報をフォーマットするのに使用するマスクを指定します。このマスクには、最長 50 文字までを指定できます。発信者 ID 情報に表示する数字列を入力します。デバイスの電話番号を表すには、X を使用します。</p> <p>自動代替ルーティング (AAR) が帯域幅不足のためにコールをルーティングする場合、余裕のある帯域幅を使用できなければ、Cisco CallManager は、このフィールドの値を使用してコールを発信します。</p> <p><b>例</b></p> <p>DN 1000 (外部マスク 9728131000) は DN 1001 (外部マスク 2144131001) をコールします。帯域幅不足のためにコールがブロックされると、Cisco CallManager は、AAR プレフィックス番号を 2144131001 と一緒に使用して 1001 にコールを発信します。</p>

## Cisco ボイスメール ポートの削除

Cisco CallManager から Cisco ボイスメール ポートを 1 つ削除する手順は、次のとおりです。

### 始める前に

電話番号が使用している Cisco ボイスメール ポートを削除すると、番号は Cisco CallManager データベース内に残ります。ボイスメール ポートを使用している電話番号を特定するには、Voice Mail Port Configuration ウィンドウの Related Links ドロップダウン リスト ボックスから **Dependency Records** を選択し、**Go** をクリックします。Dependency Records がシステムで使用可能になっていない場合、Dependency Records Summary ウィンドウにメッセージが表示されます。Dependency Records の詳細については、[P.A-4](#) の「[Dependency Records へのアクセス](#)」を参照してください。

使用されているボイスメール ポートを削除しようとする、Cisco CallManager はメッセージを表示します。現在使用されているボイスメール ポートを削除する前に、削除するボイスメール ポートを使用している電話番号すべてに別のボイスメール ポートを割り当ててください。[P.49-4](#) の「[電話番号の設定](#)」を参照してください。

ボイスメール ポートを削除した後で、そのボイスメール ポートを使用していた電話番号を削除できます。[P.51-4](#) の「[割り当てられていない電話番号の削除](#)」を参照してください。



### ヒント

既存のサーバからポートを削除するには、この項で説明されている手順の代わりに、Cisco Voice Mail Port Wizard を使用することもできます。詳細については、[P.63-1](#) の「[Cisco ボイスメール ポートウィザード](#)」を参照してください。

### 手順

- ステップ 1** [P.62-2](#) の「[Cisco ボイスメール ポートの検索](#)」の手順を使用して、Cisco ボイスメール ポートを検索します。
- ステップ 2** 削除する Cisco ボイスメール ポートをクリックします。
- ステップ 3** **Delete** をクリックします。

### 追加情報

[P.62-8](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

## 関連項目

- [Cisco ボイスメール ポートの検索 \(P.62-2\)](#)
- [Cisco ボイスメール ポートの設定 \(P.62-4\)](#)
- [Cisco ボイスメール ポートの設定値 \(P.62-5\)](#)
- [Cisco ボイスメール ポートの削除 \(P.62-8\)](#)
- [Cisco ボイスメール ポート ウィザード \(P.63-1\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「Cisco Unity 設定チェックリスト」